

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
DXアンテナの製品を詳しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



平面アンテナ

ブースター内蔵
屋外用 地上デジタル放送(ch.13~52)用
水平偏波専用モデル^(注1) 出力75Ω(F形座)仕様

UAH201B(W) : オフホワイト
UAH201B(C) : ブラックブラウン

●内蔵ブースターにより、地上デジタル(UHF)放送信号を増幅して出力します。



中・弱電界
地域用

●電波の弱い場所では受信できません。
●電波塔の方角に障害物があり、見通しの悪い場所では受信できない場合があります。

(注1) お住まいの地域の地上デジタル放送の偏波が、水平か垂直かを、工事店や量販店などで確認してください。なお、垂直偏波の地域では使用できません。

もくじ	ページ	もくじ	ページ
安全上のご注意	2	アンテナにケーブルを接続します	10
はじめに	4	便利な機能① ケーブルの固定方法	11
各部の名称とはたらき	4	電波が強すぎてテレビが映らないときの対策(参考)	11
様々な取付例<イメージ>	4	使用例	12
重要 見るか試してみよう	5	BS-110度CSアンテナを接続して使用する例	12
アンテナを取り付ける	6	ブースターを接続して使用する例	12
壁面に取り付ける場合	6	便利な機能③ アンテナにブースター(当社別売)を固定することができます	13
便利な機能① 垂直取付の確認方法	7	アンテナの方向を調整する	14
ペランダ(格子)やマストに取り付ける場合	8	うまく映らないときは	15
ケーブルを接続する	10	仕様 / 保証書	16

■取付けに必要なもの（お客様に準備していただくもの）
・同軸ケーブル(75Ω)・壁面の強度に合った木ねじやコンクリートアンカー(壁面取付の場合)・ドライバー・落下防止用ヒモ
・ケーブル接続用のカッターペンチ・はしり脚立など(高所での作業の場合)・マジャー

■付属品（ご使用の前に、セット内容をご確認ください。）



同軸ケーブルは付属していません。取付場所に応じて必要な長さの5C相当ケーブルをご購入ください。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文中に使われている記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		機器の分解禁止		接触禁止
	一般的な禁止事項		指示を守る		

警告 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告 お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

警告 次の場所に設置しない（アンテナ本体）
△送電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
△アントナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。

△人や車両の通行の妨げになる場所
△人がぶつかたり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
△落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。

△組立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け(トルク)で緩め付け、固定してください。
△落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

△組立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け(トルク)で緩め付け、固定してください。
△落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

△風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですか設置工事やお手入れ、点検をしないでください。

△ACアダプターや電源挿入器、アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。
△電波が強すぎてテレビが映らないときの対策(参考)

△お子様が触れないようご注意ください
△お子様の手の届くところに置かないでください。
△頭からぶつかると窒息など死の原因となります。

△落下防止の対策をして作業してください
△必ず落下防止のため、丈夫なヒモ(市販品)を使用して、壁面取付金具、アンテナ本体、付属のレンチをペランダ等の固定物に結んでください。

△雷注意
△雷が鳴り出したら、アンテナやACアダプター、電源挿入器、ケーブルには触れないでください。
△落としてけがや事故の原因となります。

ケーブルに無理な力を加えたり傷つけない

警告 接続する同軸ケーブルは、テレビ電波以外で电流が流れます。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、壊损したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをせたり、加熱したり、(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。

△火災や感電の原因となります。

△ACアダプターを抜くときは、必ず本体部分を持って抜く

△コードを引っぱるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

△濡れた手で引き差ししない

△感電の原因となることがあります。

ACアダプターの取扱いについて次のことに注意してください。

警告 △表示された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外の電圧で使用しない

△火災や感電の原因となります。

△ACアダプターを抜くときは、必ず本体部分を持って抜く

△コードを引っぱるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

△濡れた手で引き差ししない

△感電の原因となることがあります。

注意 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

台風や積雪のあとには点検を

注意 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付金具などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。また、上に乗らないでください。
△倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

注意 アンテナや取付金具などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。また、上に乗らないでください。
△倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

共同住宅での注意点

注意 マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制があることがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

注意 壁面に取り付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に必ず相談し、落さないように安全性と安定性を十分に考慮してください。

■使用上の注意

地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信環境が悪い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかもしれません。また、ブースターを内蔵しているので、電波が強すぎるとブースターが過熱となり、受信不良になることがあります。

アンテナは電波到来方向の障害物をさげるうえで、できるだけ高い位置に設置してください。

付属の電源挿入器のテレビ側の端子には電源(DC12Vなど)は供給しないでください。故障の原因となります。

電源挿入器内蔵のブースターに電源を供給していますので、付属のACアダプターをコンセントから抜くとテレビが映らなくなるまでの注意ください。

お手入れなどは、ベンジン、アルコール、シンナー、洗剤などは使わず、柔らかい布で軽く拭き取ってください。樹脂が溶けたり、変形したり、塗装がはがれたり、変質することがあります。

アンテナを塗装したり、シール等を貼らないでください。樹脂が劣化したり、受信不良の原因となります。

エアコンの室外機の近くに設置すると、室外機からのイズムにより受信不良の原因となります。室外機から1m以上離してください。また、鉄道が近くにありますと、配線がソーラー(オル(インバーター))の近くを通っていると受信不良の原因となる場合がありますので、できるだけ離して設置、配線してください。

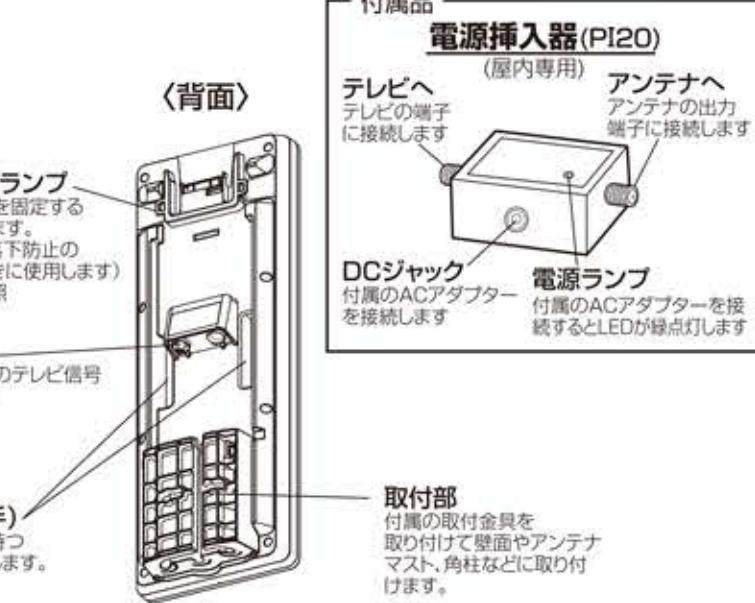
同一マスト・角柱に複数のアンテナを取り付ける場合は、できるだけ間隔を開けてください。(推奨間隔1m以上)

アンテナや取付金具の締付ボルトに錆が生じてないか、定期的に点検をしてください。

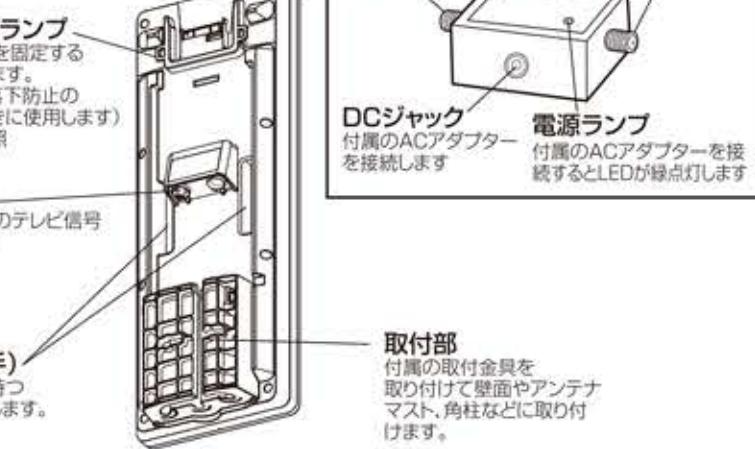
はじめに

各部の名称とはたらき

アンテナ本体 <前面>



背面



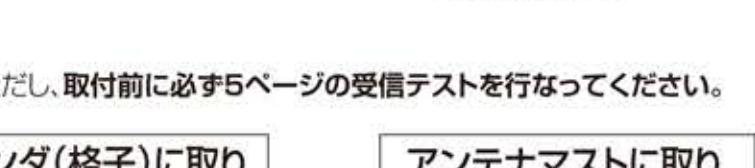
付属品



取付金具



様々な取付例 <イメージ>



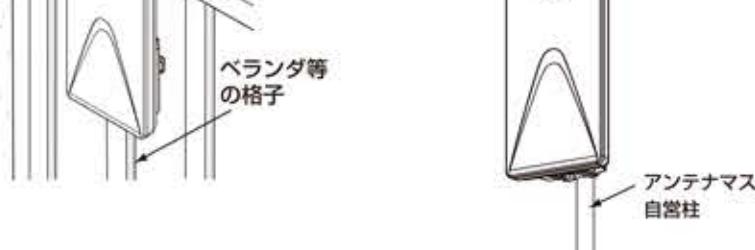
壁面に取り付ける場合 → 6ページ



ペランダ(格子)に取り付ける場合 → 8ページ



アンテナマストに取り付ける場合 → 8ページ



本体の取付方法

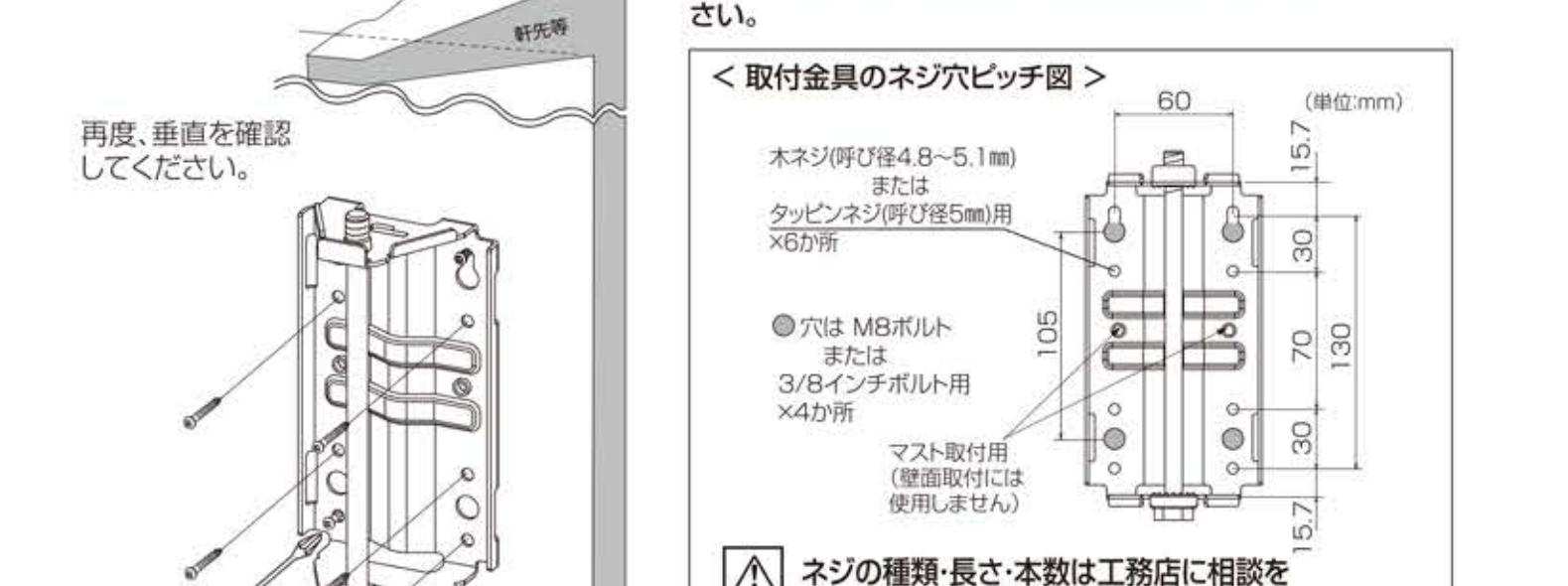
④ アンテナ本体を取付金具に取り付けます。



⑤ アンテナ本体を仮固定します。

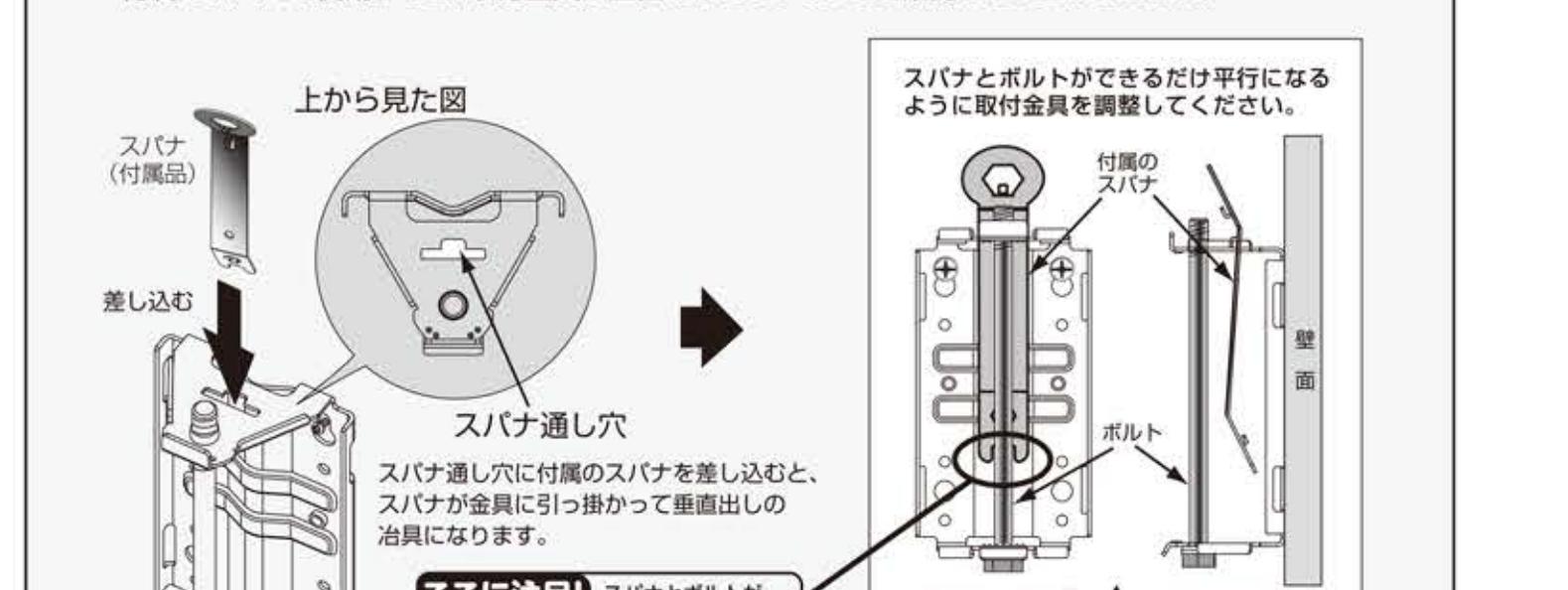


③ 全てのネジを締付けます。
ダルマ穴を含めて、左右均等に計8か所の穴を使用してください。



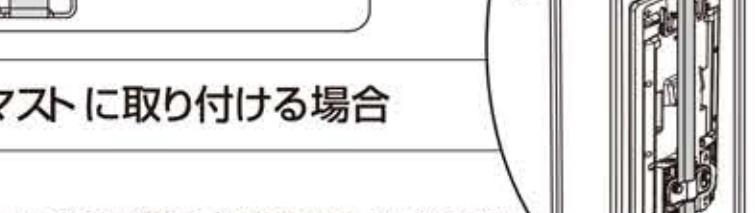
便利な機能① 垂直取付の確認方法

付属のスパナを使用すると、取付金具が垂直になっていることを確認することができます。



2 ベランダ格子やアンテナマストに取り付ける場合

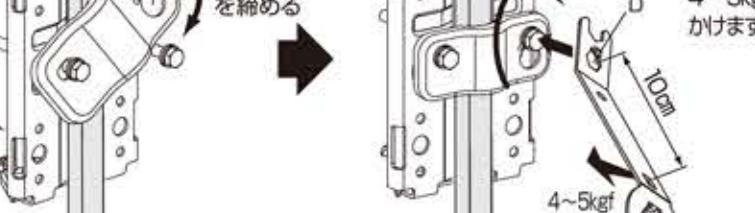
付属のマスト押さえ金具を使用してください。



イラストは、ペランダ格子（例）に説明していますが、アンテナマストも同様の方法で取り付けてください。



※できるだけ直角柱に取り付けてください。



付属のスパナで左右均等に締めてください。



step 1 アンテナを取り付ける

取り付けには、付属のスパナやメジャー、ドライバーが必要です。

落と下防止の安全対策について

受け付け作業中、アンテナ本体や工具が落下すると非常に危険ですので、下記のとおり、落と下防止の準備をしてから作業を行ってください。



1 壁面に取り付ける場合

注意 壁面に取り付けると壁面にかきります。また、取付金具を取り付けた後からは上下方向の調整ができないので、事前にご確認ください。なお、壁面の強度の確認とネジ穴の隙間の防水処理が必要ですので、壁面の強度がわかる工務店や工事店にご相談ください。

下図「設置後のイメージ」のように、取付金具の上から軒先より500mm以上離さないで、アンテナ本体が取り付けられません。(取付金具の上から下にある障害物までは300mm以上、隣り合う壁面等には165mm以上離して取付金具を取り付けてください)

設置後のイメージ
(横から見たとき)
① 取り付け壁面にネジ穴の印をつけ、ネジ穴に引っ掛けて、垂直になるようにネジを締め付けます
→7ページ「便利な機能①」参照

② 取付金具を①のネジに引っ掛けて、垂直になるようにネジを締め付けます
→7ページ「便利な機能①」参照

△ 取り付け